

講義コード	11C0116203	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	経済フィールドワーク1(芹田)					芹田 浩司		第1期	
履修前条件						備考			
授業の目的	<p>本講義は、調査対象をさまざまな視点から観察し、独自の分析を行い、とりまとめて他者に正確に伝える力を鍛錬することを第一の目的とする。調査対象は、原則として実際の経済・産業活動が行われている都市や地域とする。対象とする都市・地域についてのデータ収集や分析を行った上で現地調査を実施することにより、座学では得られない経験を通じて、経済について深く学ぶ。今年度の経済フィールドワーク先としては、高付加価値の乳製品等の生産を通じ、全国的にも有名となり、所謂「地方創生」のモデルケースとして考えられる地域である北海道厚岸郡浜中町を予定している。また、本講義での事前調査や分析はグループ単位で実施し、とりまとめてプレゼンテーションを行うスタイルで進行する。</p>								
到達目標	<p>対象とする経済・産業活動など、実際の現場に関する多角的な分析の視点を養い、データの収集や整理、関連情報のとりまとめができるようになる。また、実態把握・問題解決などの目的をもって、調査を実践することできる能力のほか、基本的にはグループによるプレゼン形式で授業を進めていくため、コミュニケーション能力や協調性、プレゼンテーション能力も養うことを目標とする。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>当該内容についての確認および理解を深めるための復習を推奨する。授業中は原則として講義およびグループワークによる作業や議論が中心となるため、データ収集や資料のとりまとめなど各自の分担作業については授業時間外に行うことが必要となり、計60時間以上の授業外学修を実施することを推奨する。また、所定の授業時間以外に学外での現地調査を実施する。この現地調査への参加は必須である。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 イントロダクション 【第2回】 フィールドワークとは 【第3回】 調査と分析 【第4回】 分析手法の選択 【第5回】 データとは 【第6回】 データ収集と集計 【第7回】 グループワーク① 【第8回】 ヒアリングとアンケート 【第9回】 グループワーク② 【第10回】 フィールドワークの準備 【第11回】 グループワーク③ 【第12回】 プレゼンテーションの方法 【第13回】 グループワーク④ 【第14回】 レポート作成の方法 【第15回】 グループワーク⑤</p>								
成績評価の方法	①レポート、②学外フィールドワークへの参加（必須）、③課題提出、④グループワークへの貢献、⑤授業態度等の総合評価による。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	<p>本講義は、「経済フィールドワーク2」とのセット受講とする。 本講義の募集人数は12名前後とする。 履修者は、原則として学外フィールドワーク（北海道浜中町：2泊3日、9月上中旬頃を予定 [変更の可能性有]）への参加が必須である。 学外フィールドワーク費用（交通費・宿泊費・施設見学費など）のうち、履修者の負担分として30000円程度を徴収する（金額は若干の増減可能性あり・原則として返金しない）。 学外フィールドワークに充てた時間を授業時間より振り替えることがある。 参考資料等は適宜指示する。</p>								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。								
その他									